

中区ふれあい交流会

平成29年11月11日（土）場所；福祉交流センター

<目的>

障がい児者とその家族等、地域の民生委員児童委員及び福祉関係機関や地域ボランティア等とが交流を通して、お互いを理解し繋がりを深める。

<報告>

参加者合計；97名（当事者 23名、職員・家族 13名、関係機関・企業他 61名）

開催までの流れ

5月24日 第1回打合せ会 実施日時の決定、事業内容の検討、周知方法の確認



7月4日 第2回打合せ会 レク内容の紹介、タイムスケジュール・事業詳細の検討、チラシの確認



<9月中>

中・南区内の発達支援学級や
障害福祉サービス事業所へチラシの配布



10月31日 第3回打合せ会
参加者・事業内容の最終確認
（準備の時間や当日の役割、用意する物の数量他）



11月11日 ふれあい交流会 当日



12月4日 反省会
今年度の事業の振り返り、次年度の日程について

企業貢献(CSR)

<株式会社杏林堂薬局>

平成27年度より事業へ協力。今回は、管理栄養士6名による健康チェックコーナー（体組成・貧血・骨密度・血管年齢）、特製ラッシー（ヨーグルトドリンク）や参加賞をご提供いただいた。

<株式会社知久>

平成28年度より事業へ協力。豚汁の具材（自社農園で栽培している野菜等）と昼食時のお惣菜も併せてご提供いただいた。

<株式会社システック>

今年度のレクリエーション・リアル野球盤を支援（道具の貸出）。ホームラン賞として自社商品の薬膳カレーをご提供いただいた。

当日の様子

* 参加者を5グループに色で分けて、グループごとに交流を行なう。

<受付> 9:30～

グループごとに受付（参加費300円）。* 民生委員が主体
色分けしたテープを名札として使用。

<開会・オリエンテーション> 10:00～

当日の流れを確認後、各グループで自己紹介をして交流。

～10:30より各活動を開始～

<昼食づくり>

各グループとも20食を作る（エプロン・三角巾を着用）。

作るメニュー；豚汁、アルファ化米、ギョウザ

（豚汁）

材料を（株）知久に提供いただいた。当事者の方は野菜や豆腐の切り方などをスタッフ（民生委員等）から教えてもらいながら下準備から完成まで協力して調理した。

（アルファ化米）

中区区振興課より2箱（100食分）を譲渡。手順を確認しながら、お湯を注ぐ→蒸らす→混ぜる工程を行なった。非常時に使えるようにと知識も養った。

（ギョウザ）

南区にある就労支援施設で作られた「はまかぜギョウザ」をフライパンで焼いた。

<レクリエーション>

リアル野球盤の実施（協力；NPOリアル野球盤協会、（株）システック）

午前は的当てゲーム、午後は試合形式（グループ対抗）で交流。

<健康チェック>

（株）杏林堂薬局の管理栄養士による測定コーナーを実施（午前・午後）。

測定種類；体組成、骨密度、血管年齢、貧血

<昼食タイム> 11:50～

グループで用意した3種に加え、（株）知久提供のお惣菜と（株）杏林堂薬局特製ラッシー（牛乳やヨーグルトを混ぜ合わせたドリンク）も準備。グループごとに談笑しながらの食事。

<施設・企業等紹介> 12:40～

昼食後の休憩時間を利用して事業所の利用者と職員から施設の紹介や就労内容・思いが話された。

<閉会> 13:50～

閉会の挨拶。解散時に（株）杏林堂薬局から参加賞の配布。

